

キャンプファイヤー・キャンドルサービス

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

燃え上がる炎やろうそくの火を囲み、神秘的な炎を見つめながら活動を振り返ったり、自分の生活を振り返ることで、互いの心を開放しあい友情を深めます。

2 時期・時間・活動場所

キャンプファイヤー：4月～11月・1. 5～2時間・冒険広場上部、冒険広場下部、すりばち広場、見晴らし広場、つどいの広場

キャンドルサービス：通年・1. 5～2時間・プレイホール、オリエンテーション室、研修室等

3 準備

〈キャンプファイヤー〉

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
アンプセット（マイク・テープ使用可）、電源ドラム、CDラジカセ	マッチ、トーチ、キャンプファイヤーセット（食堂売店で購入可）

〈キャンドルサービス〉

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
アンプセット（マイク・テープ使用可）、電源ドラム、CDラジカセ、中央燭台、個人燭台、耐火シート	マッチ、ローソク（食堂売店で購入可）

4 実施例

第1部：火を迎えるつどい 15分～20分

【キャンプファイヤー】	【キャンドルサービス】
① 入場・整列 ・班ごとに入場し所定の位置につきます。 ・火床を囲み、起立して静かに待ちます。	① 入場・整列 ・全員ローソクを持って入場します。 ・燭台を囲み、起立して静かに待ちます。
② 開会 ・司会者が開会の言葉を言います。	
③ 火を迎える・聖火係入場 ・「遠き山に日は落ちて」等を全員で歌いながら火を迎えます。	
④ 営火長の言葉 ・火に関する話やこれまでを振り返る話をします。	
⑤ 点火 ・点火係は営火長の前に整列します。 ・営火長は「友情の火」「健康の火」等の言葉とともに火を授けます。 ・点火係は、営火長の言葉を受けて一人ずつ誓いの言葉を言います。	

・点火係は火床の周りに位置し「点火」の合図で点火します。	・点火係は自分の位置に戻って順番に隣へと火を分けていきます。
	集火 ・中央燭台へ順番にローソクを集めます。
⑥ 歌等 ・炎が燃え上がったなら「もえろよもえろ」等を歌います。	

第2部：親睦のつどい 45分～55分

それぞれ練習・用意してきた出し物を披露します。全員でできるフォークダンス、ゲーム、歌等も。

第3部：火を送るつどい 10分～15分

【キャンプファイヤー】	【キャンドルサービス】
① 歌 ・「今日の日はさようなら」「一日のおわり」等静かな歌を歌います。	
② 営火長の言葉 ・まとめとなる話をします。	
③ 感想発表 ・発表者は営火長の前に出て感想や反省、抱負等を話します。	
④ 火を送る歌 ・終わりの歌にふさわしいものを歌います。（「今日の日はさようなら」等） ・営火長の隣から一人ずつ全員と握手して退場してもよいです。	
⑤ 聖火退場 ・司会者が閉会の言葉を言います。 ・諸連絡をし、後始末に入ります。	
後片づけ ・薪は、できるだけ燃やしつくし、 <u>火が完全に消えるまで水をかけてください。</u> その後、 <u>消火した旨をお伝えください。</u> ・残炭は翌日、灰捨て場に捨ててください。	後片づけ ・手持ちの燭台は、所定の箱に入れて事務室に戻してください。 ・中央燭台と耐火シートは、元の場所に戻してください。

5 留意点

- ・キャンプファイヤー・キャンドルサービスには、定形がありません。プログラムの流れをふまえて、ねらいに沿った活動を考えてください。
- ・薪は、水に濡らさない・火をつけない・灯油をかけていない状態であれば返品が可能です。
- ・つどいの広場で実施する場合には、移動式の営火台を使用しますので、職員の説明のもと設置してください。
- ・火気が残っている場合は、その場を離れないでください。終了後必ず事務室にご報告ください。